



みなさんは、日々の暮らしの中にご近所付き合いや気の合う仲間がいますか？
5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える、人と人との「つながりのある地域」をめざし、「地域のお宝」として、ご紹介していきます。

取材先

◇綿打地区 七夕の会 野菜収穫祭



毎週火曜日にいずみ会館で行っていた活動が、新型コロナウイルスの影響で会館が使えなくなり、活動の自粛を余儀なくされました。今回のじゃがいも掘りは七夕の会としては久しぶりの活動でしたが、皆さんとてもお元気で、笑い声とおしゃべりが途絶えませんでした。

いも掘り中の会話は、ワクチン接種の話題で持ちきりでした。「〇〇病院で注射打ってきたよ、腕の筋肉痛はあるけど熱は出なかったよ」「うちは、まだ電話が来ないよ。早く終わって沢山活動出来るといいね」など情報交換が盛んに行われていました。

この日は、いつもの畑で、じゃがいも掘りのみの予定でしたが、枝豆も食べ頃に育っていたため、じゃがいもを獲った後、枝豆の収穫が始まりました。

世話人さんは「みんな、枝豆は2個（本）ずつ持って行きな、ニコニコの2だからね」とお裾分けしながら、みなさんと気兼ねなくこんなやり取りをできる関係が、なにか困り事があったときにも「助けて」と言い合える関係につながるのだろうと感じました。



◇ワイワイガヤガヤ争奪戦



収穫したじゃがいもの争奪戦では「1人じゃがいも20個取って」と世話人さんの掛け声のもと、みなさん大きめのじゃがいもを見つけては袋に一生懸命詰め込んでいました。「しゃべってて数が分からなくなっちゃったわ」と争奪戦中も、みなさん本当によく笑っておしゃべりしながら分け合い、この会が皆さんの元気の秘訣になっている様子が伺えました。「今日来れなかった5人が来週来るからその人達のも取っといてもらえる？」「あいよ、じゃあ私2袋数えるね」こうしたお互い様という気持ちで仲間のために率先して協力し合う優しさが、この会が長く続いている理由なのだろうと感じました。

つながるポイント

- *会をきっかけとして、日頃から気にかけて合いながら、つながれる仲間
- *七夕の会がメンバーそれぞれの活力になったり、居場所になっている





ブルーベリー
おいしい！



親子で楽しむ！

**強戸地区下強戸
齊藤さん家のブルーベリー狩り**

10年程前から開催されるようになった齊藤さん家のブルーベリー狩り。毎年育成会や老人会、地域の方に声を掛けて行われています。ブルーベリー狩りを通して地域の交流の機会、顔合わせの場になっています。



さいとう しずお
齊藤静夫さん77才



高齢者も楽しむ！



ブルーベリーの木は30本程あり、齊藤さんがほとんど1人で草取りや施肥など行い、管理されています。当日はおがくずが敷いてあり、参加者が歩きやすいように工夫されていました。

ブルーベリー狩りに参加していた育成会の岡部知香さんは「地域の行事がほとんど中止になっている中で声を掛けてもらってありがたいです。」と話していました。

区長の岡部堅二さんが参加者にお皿を渡したり、奥さんの悦子さんが手作り紫蘇ジュースをふるまったりとブルーベリー狩りのサポートをされていました。

みんなが遊びに来てくれることで笑顔になること、「美味しかったよ！」「ジャムを作ったから食べて！」と新たに交流が生まれることが齊藤さんの原動力になっているようでした。

☑つながるポイント

- 地域の交流の場を設けることで、住民どうしが知り合うきっかけに！
- 体験を通して子どもたちが地域と接点をもち、視野が広がるきっかけに！
- 高齢者の方にとっては、齊藤さんの家が気軽に寄れる場所になっている。



お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまで！



詳しくはこちら

お問い合わせ
太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032